

## 子ども・子育て支援事業計画事業進捗状況

## 1. 児童人口の推計

## (1) 最近の状況

R4年2月に見込んでいた計画人口は1,864人で、R4年4/1時点では1,880人となり、16人の差が生じていた。またR4年10/1時点の人口では、R4年4/1時点よりも増加し、53人の差で1,917人、最新のR4年12/15時点の人口では、更に増加し、77人の差で1,941人となっている。

平成28年熊本地震からの復旧・復興事業により、本町への転入者が計画した見込数よりも急激に増加している状況である。

【表1】

クラス年次	区分	計画	4/1時点	10/1時点	12/15時点
0歳児	R3.4.2-R4.4.1	278	280	288	295
1歳児	R2.4.2-R3.4.1	300	316	327	332
2歳児	H31.4.2-R2.4.1	320	304	307	311
3歳児	H30.4.2-H31.4.1	295	303	313	317
4歳児	H29.4.2-H30.4.1	352	349	354	357
5歳児	H28.4.2-H29.4.1	319	328	328	329
計		1,864	1,880	1,917	1,941
差	計画との差		16	53	77
	4/1時点との差			37	61

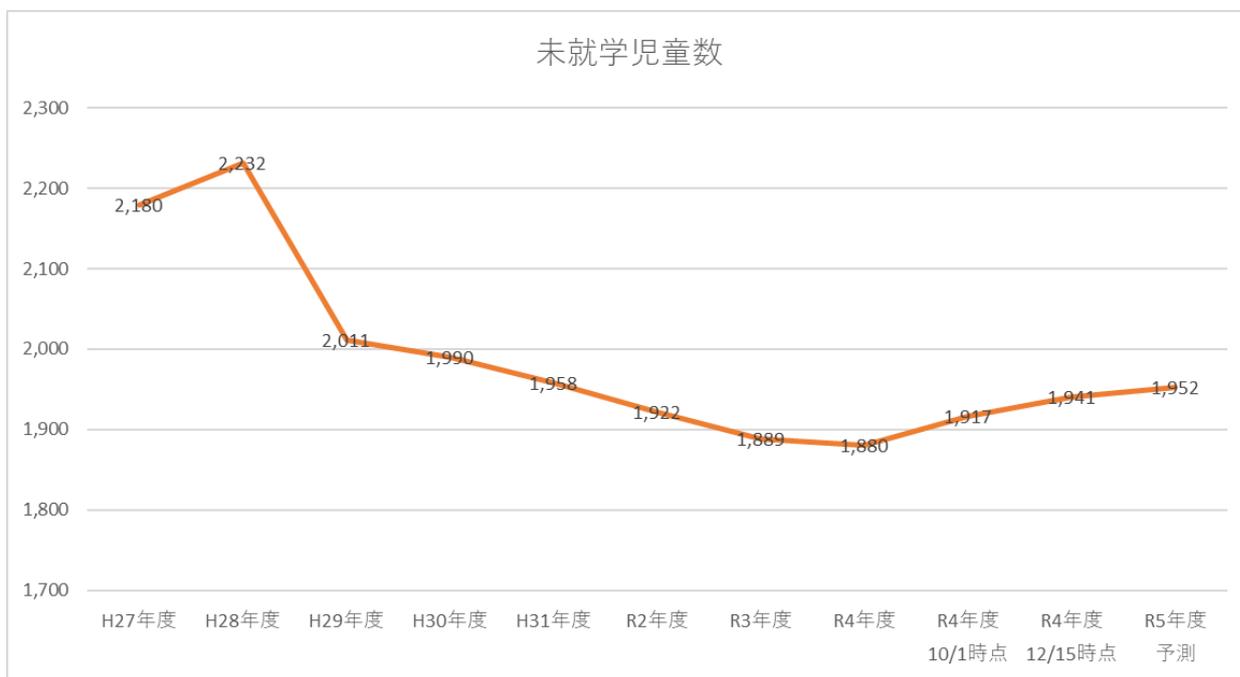
R4年12/15時点の小学校区別の児童状況は下表のとおりで、児童の人口のうち、約66.4%が広安西、広安小学校区で、続いて、益城中央小学校区が19%、飯野小学校区が約11%となっており、本町の子育て世帯が町西部から中央部に集中している状況である。

【表2】

	飯野小	広安西小	広安小	中央小	津森小	計
住民のクラス年次毎の校区人口が含んでいるため、非公表						
計	209	680	610	368	74	1,941
割合	10.8%	35.0%	31.4%	19.0%	3.8%	

## (2) 未就学児童数の推移

【グラフ1】



H27年度-R4年度は4/1時点

本町の未就学児童数は、平成28年熊本地震の影響で、H29年度に大きく人口が減少し、R4年4/1まで微減を続けてきた。

しかし、復旧・復興の影響で子育て世帯の転入者が増加したことにより、R4年度に入り、未就学児童数は増加傾向にあり、R5年度の予測値では、H31年度の水準に戻りつつある状況である。

今後も、益城インターチェンジ沿いの益城台地西地区の区画整理事業や木山復興土地区画整理事業、町災害復興ゾーンでの分譲地の整備の影響で更に増加する可能性が高い。

## 2. 教育・保育の量の見込みと提供状況

### (1) 計画との比較 (R5年1/1時点)

【表3】

区分	1号	2号	3号		2号・3号
			0歳	1・2歳児	計
量の見込み	150	736	183	474	1,393
確保方策	355	699	140	433	1,272
R5.1.1利用者	159	716	146	443	1,305
保留児童数	1	13	81	37	131
申込数	160	729	227	480	1,436
<b>充足・不足数</b>	<b>195</b>	<b>-30</b>	<b>-87</b>	<b>-47</b>	<b>-164</b>

幼稚園利用者(1号)については、確保方策よりも少ない申込件数となった。1名保留児童が発生しているのは、町立幼稚園にて幼稚園教諭が確保できず、受入ができない状況になったためである。また、R5年1/1時点で上記人数とは別に50名の児童が熊本市内又は県外の幼稚園を利用している。

保育所利用者(2号・3号)については、確保方策よりも多い人数の申し込みを受け、R4年12/15時点での保留児童の予測数は131名(1月時点実数100名)となった。量の見込みと申込数を比較すると見込み数よりも実際の申込数が多い状況となっており、特に3号の0歳児の受け皿が大きく不足しており、保留児童が発生している。また、これとは別にR5年1/1時点での企業主導型保育施設を利用している児童数は74名、町で把握している認可外保育施設の利用者は22名であり、この中には保留児童となっている児童も含んでいる。

【表4】

	企業主導型 保育施設	認可外 保育施設	計
0歳児	17	0	17
1歳児	18	2	20
2歳児	14	1	15
3歳児	12	3	15
4歳児	6	10	16
5歳児	7	6	13
計	74	22	96

なお、上記の人数とは別に、R5年1/1時点で広域入所制度を利用し、町外の保育所等を利用している児童は24名であり、42%が1歳児であった。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
人数	1	10	1	2	5	5	24
割合	4%	42%	4%	8%	21%	21%	

【表5】

## (2) 令和4年度 (R5年1/1時点) 認可保育所等受入状況

【表6】

園名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	定員	充足率
益城町立第一保育所	9	17	17	20	17	21	101	100	101.0%
益城町立第二保育所	6	9	11	15	20	17	78	75	104.0%
益城町立第三保育所	5	9	10	17	7	11	59	75	78.7%
益城町立第四保育所	8	15	19	21	23	16	102	100	102.0%
益城町立第五保育所	6	8	17	13	15	18	77	75	102.7%

法人情報が含んでいるため、非公表

計	146	214	229	238	245	233	1,305	1,272	102.6%
定員	140	192	241	222	232	245	1,272		
充足率	104.3%	111.5%	95.0%	107.2%	105.6%	95.1%	102.6%		

R5年1/1時点での認可保育所等の受け入れ状況は、上表のとおりである。町立保育所のうち、「第3保育所」の受入人数が少ないのは、「1. 児童人口の推計」でも触れたとおり、地区の人口が少なく、希望者が少ないためである。私立保育所等については、A保育園、B保育園、C保育園において、保育士が不足しており、受け入れができていない状況となっており、3園で、60人分の受け入れができていない状況となっている。代わりに他の保育所等で、定員以上の受け入れを行っており、定員以上の受け入れ（1,305名-1,272名=33名）を実現している。

クラス年次毎の受入状況については、2歳児と5歳児で定員以下の充足率となっているものの、その他のクラス年次では、定員以上の受入を行っている状況である。

### (3) 令和5年度 保育施設利用に係る一斉申込の受付状況

#### ① 申込状況

令和4年11月8日から12月9日まで令和5年度の保育施設利用に係る一斉申込の受付を行った。期間内に申込を行った児童数は、363名で、そのうち5名は、令和4年度中に就園が決定し、1名は申込後、町外に転出し辞退扱いとなったため、一斉申込期間内の申込件数は、357名となった。

クラス年齢ごとの内訳は、下表のとおりである。

【表7】

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和5年度	159	91	52	25	20	10	357
令和4年度	160	82	36	32	14	4	328
増減	-1	9	16	-7	6	6	29

最新人口	285	295	332	311	317	357	1,897
転入予定	12	12	10	5	13	3	55
予測人口	297	307	342	316	330	360	1,952

令和4年度の一斉申込の受付状況と比較すると、0歳児と3歳児で減少しているものの、その他の年次では増加し、全体で29件増加した。

最新人口の0歳児の人数はR4年12/15時点の人口214名からR5年4/1までに生まれる児童数を推測・加算し、1歳児から5歳児までは、R4年12/15時点の人口がそのままスライドすると想定して算定している。

転入予定の児童数は、一斉申込時に他市町村からの転入予定で申込書を提出した55人の方を計上した。令和5年度の予測人口1,952人は、平成31年度の本町の人口値と近い数値となっており、人口減少の時代に児童人口が増加している状況である。

② 申込者の特徴

357名の児童のクラス年次と施設利用希望月は、下表のとおりである。

70%程度が令和5年4月からの入園を希望し、5月以降は1桁台で推移している。年度途中での申込は、主に0歳児となっており、0歳児の施設利用申込者が育児休業制度を利用し、復職する前月に施設の利用を希望するためであると推測される。また、年度途中の1歳児以上のクラス年次児童の申込は、他市町村から本町に転入する児童の申込だと推測される。

【表8】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	65	11	15	18	9	12	7	9	4	5	2	2	159
1歳児	84	1	2	0	1	2	0	0	0	0	0	1	91
2歳児	46	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	52
3歳児	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
4歳児	19	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
5歳児	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
計	249	14	20	18	11	15	7	9	4	5	2	3	357
割合	69.7%	3.9%	5.6%	5.0%	3.1%	4.2%	2.0%	2.5%	1.1%	1.4%	0.6%	0.8%	

施設利用申込者のうち、保育の必要事由が、「求職活動」により、申し込みを行った児童数は、357名のうち、46名であった（割合：12.9%）。

クラス年次毎の内訳としては、0歳児から2歳児までの未満児に集中している状況であった。

これは家庭での保育がある程度、落ち着いてから、子どもを保育施設に預け、働くことを選択する世帯が多いためと推測される。

ただし、求職活動での申込は、保育の必要性が低くみられるため、保育施設入所調整に係る点数が低くなり、結果として入所が叶わない事案が多い。

求職活動での申込状況 【表9】

	人数	割合
0歳児	14	30.4%
1歳児	15	32.6%
2歳児	11	23.9%
3歳児	5	10.9%
4歳児	0	0.0%
5歳児	1	2.2%
計	46	

357名の児童の住まい校区は、下表のとおりである。

【新規申込者の住まい校区】 【表 10】

	飯野	広安西	広安	中央	津森	転入者	計
住民のクラス年次毎の校区人口が含んでいるため、 非公表						12	159
						12	91
						10	52
						5	25
						13	20
					3	10	
<b>計</b>	<b>36</b>	<b>94</b>	<b>89</b>	<b>72</b>	<b>11</b>	<b>55</b>	<b>357</b>
<b>割合</b>	10.1%	26.3%	24.9%	20.2%	3.1%	15.4%	

児童人口同様、広安西、広安、中央小学校区の申込が多くなっている。

転入者 55名の転入予定地の住まい校区は、下表のとおりである。

【転入者の住まい予定校区】 【表 11】

	飯野	広安西	広安	中央	津森	未定	計
住民のクラス年次毎の校区人口が含んでいるため、 非公表							12
							12
							10
							5
							13
						3	
<b>計</b>	<b>2</b>	<b>21</b>	<b>5</b>	<b>19</b>	<b>2</b>	<b>6</b>	<b>55</b>
<b>割合</b>	3.6%	38.2%	9.1%	34.5%	3.6%	10.9%	

広安西小学校区と中央小学校区の割合が多くなっている。

広安西小学校区の転入の増加は、同小学校区内で整備が進んでいる益城台地西地区の区画整理事業の影響によるものと推測される。全 400 区画の供用開始が予定されており、令和 4 年度中に先行地 50 区画程度の供用が始まる余波を受けている。中央小学校区校区の転入増加は、同小学校区内で供用開始した 100 区画の大型分譲地（宮の台）の影響によるものと推測される。

【新規申込者住まい予定校区（最終）】

【表 12】

	飯野	広安西	広安	中央	津森	未定	計
住民のクラス年次毎の校区人口が含んでいるため、 非公表							
計	38	115	94	91	13	6	357
割合	10.6%	32.2%	26.3%	25.5%	3.6%	1.7%	

新規申込者の住まい予定校区を分析したところ、広安西小学校区、広安小学校、中央小学校区の順となった。

児童人口同様、町西部から中央部に本町の子育て世帯が多い特徴を表している。